



翠川 舞 (みどりかわ まい)

- ・ 私立 J 大学国際関係学部卒
- ・ ハニーTV入社2年目、23歳
- ・ 161cm、B-サイズ`83,59,83
- ・ 報道中心の女子アナを希望。知的で冷静、美貌のため4社の女子アナ内定
 - 公共放送には最初は地方局勤務と言われたため採用辞退
 - ハニーTVは業界下位だったが、舞の報道志望を尊重すると約束のため入社を決めた
- ・ 男性との交際経験はあるがキスまで
- ・ 採用当初から頭角を現し、2年目でいきなりメインキャスターに大抜擢

PART 1

7:00

通常国会始まる

《民放八二ーTV。朝のニュース番組放送》

【翠川舞】「おはようございます、ときめき土曜日です。昨日から、通常国会が始まりました。」

【竹下夏樹】「今日の日本列島は全国的に晴天となります。爽やかな風が気持ちいいですね。」

竹下 夏樹

翠川 舞

《スタッフルーム、生放送を見ながら》

【望月ディレクター】「ちよつと固いよなあ」

【西川AD】「二人とも可愛いんですけどねえ」

「またFTVに負けるぞ」「華がないなあ」

《翌日、低視聴率が判明》

《報道局長に呼び出された舞》

「局長」どう、朝のニュースは慣れた？

「はい、楽しくやらせていただいています。ただ、視聴率が思うように行かず、申し訳ありません」

「それは君ではなく望月君の責任だけどね……ただもう少しだけ、華があるといいよねえ」

「華、と言いますと？」

「少しだけ、視聴者サービスをしてほしいんだ。君がそういうのが嫌いなのは分かってるけどね」

「ですが、やはり私としましては……」

「女性が外見で判断されることを問題と思ってるのはよく分かってるよ。ただ、ウチの経営状況を考えてくれないかな。視聴率がこのままだと業界最下位になるし、スポンサーが離れそうなんだ」

「……わかりました。少し、でしたら」

「ありがとう！ 具体的なことは望月くんたちとよく相談してやってくれ」

「はい」（気が重いな……）

7:00

株価史上最高

《翌日。指定された衣装で放送する舞》

「インカム」 「はい、にっこりね」

「おはようございます」

「おはようございます」

竹下 夏樹

翠川 舞

《胸を強調する服に戸惑う舞》

「昨日の日経平均は史上最高値となりました。
多くの企業の決算発表も行われ…」

「こんな胸元が開いた衣装なんて……夏樹ちゃん
もあんなスカートで可哀想」

「いいねえ、その調子！」

「こんなことで視聴率取らなきゃいけないの？」

7:10

アメリカ大統領訪日

《CM後》

「インカム」 「はい、横からカットイン！」

「え、横から？ そんなの聞いてない」

「次のニュースです…」

《胸を強調するように映し出されているモニターを見て顔が強張る舞》

「アメリカの大統領の訪日が検討されている件について、与党幹部が対応を検討しています…」

「舞ちゃん、もう少し笑顔でね」

「こんな風に映されて笑えないわよ」

「なお、野党の一部からは、アメリカ追従への姿勢に非難の声も上がっており、今後の動向が注目されます…」

「まだインパクトが足りないな」

7:15

電気料金値上げ

《CM明け》

「インカム」 「はい、上からカットイン！」

「え、上って、まさか！」

「次のニュースです…」

《斜め上から胸元を狙うカットに動揺する舞》

「こんなの聞いてない…」

「次のニュースです。物価の高騰が続いていますが、各地の電力会社が値上げを申請する方向であることがわかりました…」

「脚きれいだね、いいよ、その調子」

「政府は、低所得者向けの支援策を検討中です…」
（ミニスカートはこのため？）

7:16

プロレス八百長疑惑

「次は顔と胸アップで！」

「胸って？ ありえない！」

「人気のプロレス団体の試合で、八百長が行われた疑惑が発生しています…」

「舞ちゃん、笑って！」

「胸元を映すなんて…恥ずかしい」

「先月の試合において、出場選手同士が事前に打ち合わせをしたことが一方の選手から暴露されたものです…」

「はい、下に流して〜」

「え、下って？」

プロレス八百長疑惑

「カメラの向きが変わり、脚がアップに」

「このまま3秒ストップ！」

「何この映像？ ひどい！」

「……ただ、プロレスにおいて八百長は日常的に行われているという指摘もあります」

「あ、読み飛ばしちゃった……でも時間がない」

「いいよー。もう少し脚開いてもいいよ」

「ふざけないで！」

「はい、通常画面に戻って次のニュース」

「これで視聴率取るなんて、馬鹿にしてるわ！」

「この後も時々際どいシヨットを挟み放送」

《翌日、望月Dに呼び出された夏樹》

「望月D」「忙しいのに悪いね。ちよつと君にお願いがあつてさ」

「なんででしょうか？」

「実は昨日の放送の後、翠川くんに叱られてね」

「当然だと思います。あんな撮り方、ひどいです」

「彼女の気持ちも分かるけど、視聴率が厳しいことは君も知っているだろう？」

「ですから、衣装を変えたんですよ？」



「あの衣装じゃインパクトが足りなくつてさ……実際、あのサービスカット、評判良かったんだよ」

「だけど事前の打ち合わせにもなくていきなりなんて……舞さん、すごく怒ってましたよ」

「そこで君に協力してほしいんだよ。君なら、どうしたら視聴者が喜ぶか、分かるだろう？」

「え、どういう意味ですか？」

《望月D、カバンからタブレットを取り出し、机に置く》

「君、学生時代に雑誌に出たことある？」

「……一度、友達にモデルの代わりを頼まれたことはあります」（まさか……嘘はつかない方が良さそう）

「どんな写真撮らせたの？」

「……えっと、制服姿でのグラビアです」（お願い、見てないよね。噂だけでカマかけてるのよね）

「『南野渚』ちゃん、だよな？」 《タブを点灯》



「きゃ、きゃあつ。なんでその写真を！」

「もうとつくに廃刊になってるマイナーな雑誌だけだね。いろんな伝手があつてさ、この一枚が送られてきたわけ」

「……一枚つて、他の写真は？」

「え、他にもあるの？ どんな写真？」

「いえ、それは……」（恥ずかしくて言えない）

「そう言えば、もう一枚あったな」

「きゃ、きゃあつ。お願いです、捨ててください」

「君の青春の記念だろ、大事に保管してあげるよ。学生時代から胸がおつきかったんだね……乳首のピंकが少し濃くて、乳輪も大きめかな（笑）」

「いやっ、見ないでください！ カメラマンの人が怖くて仕方なくだったんです……お願いします、会社には知らせないでください」

少し恥ずかしいです……



「それじゃあ、一つお願いがあるんだけど」

「なんですか？」（まさか、エッチなこと？）

「今度、翠川くんを誘って温泉に行ってほしいんだ」

「……まさか、盗撮させるとかじゃないですよね？」

「君はもう裸見られてるから、問題ないだろ？」

「ひどい！ それに私、舞さんを裏切るなんて絶対で
きません」

《望月Dは、さらにもう一枚の画像を表示》

「これなんか、笑顔でノリノリじゃないの? (笑)」

「い、いやあつ……笑えって言われたから……」

「今ももっと大胆な恰好すればいいのに……アソコの毛は普通かな……太ももはむっちりだね (笑)」

「お願いします、そんな目で見ないでください! 私は騙されたんです」

また、会いたいね!



「それじゃあ、倫理委員会でそう訴える? 素っ裸でニツコリしてますけど強制なんですって。この写真を皆に回覧して判断してもらおうか?」

「許してください……でも、舞さんを騙すなんて……」

「君はただ、温泉に誘うだけだよ。委員会にかかったら、もう女子アナとしてテレビには出られないね」

「……少し、考えさせてください」

「もし舞ちゃんが降板になったら、次は君をメインキャスターにしようかな。まあ、考えてみて」

PART 2a

《脅迫に屈した夏樹。翌週の放送後、舞を誘って指定された温泉旅館に来る》

「いきなり誘ってすみませんでした」

「私こそいろいろあつて疲れてたから、良かったわ。とっても落ち着きそうな旅館ね」

「温泉もとても雰囲気がいいそうですよ」

「へえ、楽しみね。ゆつくりお湯に入りたいな…」



「それにしても、視聴率のために私たちに露出高めの衣装着ろだなんて、変ですよ」

「望月さんも大変だと思うけど、ひどいよねえ」

「まあ、今日はそんなこと、忘れましょう!」

「そうね、早く入りましょう」

《部屋に通された二人》

「うわあ、すごい眺めですね」

「ほんと、嫌なことも忘れられそう」

「そういえば、プロレスの件も大変でしたね」

「あれは私も悪いんだけど……まるで八百長が当たり前みたいになっちゃったし」

「SNSでもだいぶ炎上しましたが、もう下火になってるみたいですね」

「翠川舞に謝罪要求、とかね……プロレス団体の方には望月Dが訪問して謝罪してくれたそうだから、もう大丈夫みたいだけど」

「それなら良かったですね。舞さんがSNSで謝罪したら火に油かもしれませんからね」

《お茶を飲んで話しつつづける二人》

「あと、写真雑誌の件もありましたしね」

「……恥ずかしいわ」

「でも、高校時代のパンチラ写真なんて可愛いじゃないですか」（私のヌードに比べれば）



「同級生に撮られてたみたいで……絶対に許さないわ。グラビアモデルなんかの次に載せられて、最悪よ」

「ですよー」（グラビアモデルを馬鹿にしてるんですね……私みたいなヌードなんて最低でしょうね。もう遠慮しませんよw）

「ご飯の前に、お風呂に入りましょうか」「はい」

「この温泉は女性にとっても評判がいいんですよ。
タオルもOKですし」

「へえ、楽しみね」

「それに、今日は女性は私たち2人だけなんですつ
て」(本当は借り切ったんだけどw)

女

《実は夏樹はこっそりインカムを着けている。同じ旅館
に泊まっている報道スタッフの声が聞こえる》

【望月D】「それじゃ、シナリオどおりによろしくね」

「お、ついに来た！」(舞ちゃんの温泉盗撮！) (夏樹
ちゃんががんばれ！) (カメラの位置わかってるよね)

(みんな、興奮しすぎw)

《脱衣所で服を脱ぎ、タオルを纏った二人》

「うわ、素敵ですねえ！ とつても広いし」

「ええ、いいところね」 (ちよつとタオル短いな…)

「大丈夫ですよ、私たち2人だけなんですから」
(10個のカメラで生中継されてるけどw)

「たまんねえな、タオルを引つ張って胸ださせろ」

「一気に脱がしちゃえ」 (おっぱい見せて)

(はあ？ せっかちなえ、どスケベw)

「階段滑りますから気をつけてくださいね……あっ」

《よろけたふりの夏樹、後ろから舞のタオルを掴む》

「きゃ、きゃあ！」（カメラはあっちからよね）

《舞のタオルの裾を握り、ぐいっと引き下ろす》

「あ、ごめんなさい！」

「え？ きゃあっ！」

「おお、翠川のオツパイ！」（白くてきれい！）

「ごめんなさい。でもいいじゃないですか、誰もいないんですから」（番組スタッフが見てますけどw）

「そうだけど、やっぱり恥ずかしいわ」

「きれいなおっぱいで羨ましいです…」

「やだ、そんなに見ないでよw」

《身体を流すため一旦バスタオルを取る舞。恥ずかしそうに手と腕で身体を隠している》

〔肝心のところが見えないぞ。何とかしろ〕

「舞さん、二人だけなんだから、そんなに隠さなくてもいいじゃないですかあ」

「うん、でもなんとなく……露天だし」

〔くそ、見えそうで見えない〕

〔お尻が少し見えるな〕〔乳首もぎりぎり少しだけ〕

〔カメラに正面向かせてよ、夏樹ちゃん〕

〔もう、無理言わないでよ〕

《舞が再びタオルを身にまとい、男たちは溜息》

《身体を流してから、お湯に足を入れる二人》

「このお湯は、まずは足だけ入った方がいいみたいですよ」（時間稼ぎの嘘だけど）

「へえ、そうなの…あ、気持ちいい」

「いいお湯ですよね」

「そうねえ」



「色っぽいなあ」（ニユースより温泉旅行番組やらせたいなw）「ポロリあったら視聴率すごいぞw」

「すぐに全身で浸かると良くないみたいですよ」（ふふ、タオルが縮むまで待ってくださいねw）

《カメラを切り替え、曲線美を鑑賞するスタッフ達》

「ところで舞さん、本当に彼氏いないんですか？」

「え、ええ、まあね」

「番組のゲストの方から良く声かけられてますよね」

「うーん、ちよつと気の合う人がいなくて……」

「へえ。私はお金持ちの起業家とかサッカー選手とかから誘われたら、付き合っちゃうかもw」

「いいぞ、なっちゃん」 「もう少し粘れ」 「タオル、早く縮め」 「お尻ポロリ、来い！」

《少しずつ縮んだタオルがするつと上がり、舞の尻が露わになる》

「なんか、ぼーっとしてきちゃった……」

「最近寝不足でしたから」 (あれ、気づいてない?)

「でも、頑張ってきて良かったわ」

「今日はゆっくりしましょうね」

(皆さん、お尻ですよーw)



「おお、ケツ丸出し!」 (プリンとしてるな) (高精

細動画で永久保存してあげるよw) (カメラ切り替

えようぜ) (ここなら真後ろから撮ってるな)

《気づかないまましばらく話を続ける舞》

「おお、これはいいアングル！」（生尻大公開w）

「なっちゃん、そろそろバラしていいぞ」

「あの、舞さん、お尻出てますよ？」

「え？ きゃあっ」

「舞さんのお尻エッチー！」

「きゃっ、見ないで」

「恥ずかしがるの可愛い！」（エロいケツだなあ）

「剥き卵みたいってのはこのことだな」（スタッフ全員で見てるよーw）「視聴者に見せないのはもったいないな」（スポンサーの皆様には配らないとなw）

（舞さんのお尻、あちこちに配られちゃうみたいw）
「そろそろお湯に浸かりましょうか」

「ええ、そうね…」 《必死にタオルを伸ばす舞》

PART 3a

《最初のお湯に浸かった後、別の湯に移動した二人。
仲居が歩いてくる》

【仲居】「お客様、当館ではバスタオルでの入浴は
禁止となっております」

「え？ だけど…」 「以前は大丈夫でしたよね」

「申し訳ありませんが、当局の衛生指導が厳しくな
りまして、今月から変更となりました」

「え、そんな…」 《済まなそうに舞を見る》

「そうですか、わかりました」 （夏樹ちゃんが気に
しないようにしなきゃ）

「バスタオルはお預かりします。 まずお湯から上
がってください」

「あの、お風呂の中で取ったら駄目ですか？」

「はい、これ以上タオルがお湯に浸からないように
お急ぎください」 （美人女子アナさん、同僚の罠
にかけられて可哀そうねw）



「わかりました……きやつ」《両手について腰を屈めた瞬間、タオルが捲れて尻が露出し、慌てる舞》

「おお！」「エロいアングル！」「やっぱいいケツw」

「舞さん、いいじゃないですか、私しか見てないんですから」
(同僚スタッフの皆さんも見てるけどw)

「だけど……」

「すみませんが、お急ぎいただけますか？」

「はい」《さっさと風呂から出る夏樹》

「はい、すみません」(私も急がなくちゃ)

《手で身体を隠しながらバスタオルを外した舞。恥ずかしそうにもじもじしている》

「夏樹ちゃん、お手本を見せるんだ。ばつとな」

（ふざけないでよ！ …もうヤケだわ）

「どうせ、誰もいないからいいですよね！」 《両手をどけて、裸身を晒すポーズを取る》

「さすが元グラビアモデル！」 「可愛いよ！」



「最近の若い子は羞恥心が…」 《呆れて仲居が去る》

「ちよっと夏樹ちゃん！ でも、きれいな身体ねえ」 《思わず笑みを浮かべる舞》

「いいじゃないですか、仲居さんにどう思われたって。旅の恥は掻き捨てですよ！」

（本当は死ぬほど恥ずかしいけど…舞さんにはもっと恥ずかしい気持ちになってもらうんだからねw）

「たしかにねえ…ちよっと大胆になっちゃおうかな」

《全裸でお湯に浸かった二人。夏樹に影響され、舞のガードが徐々に緩くなる》

「本当にいいお湯ね。空気も気持ちいいし」

「やっぱり露天風呂はいいですよね」（ふふ、おっぱい見えてますよ）

「ありがとね、いい温泉見つけてくれて」

「いえ、とんでもないです！」

（ちよつと良心の呵責w）

「いいぞ、夏樹ちゃん」（温泉の舞ちゃん可愛い）

「ハニー温泉の裏ポスターに使ってもらおうかw」

「で、これからも時々舞ちゃんに来てもらって、生盗撮ショーとかw」

「現役女子アナの温泉生盗撮…めっちゃ稼げるなw」

「夏樹ちゃん、そろそろ次に行こうか」



《盗撮カメラの位置を意識し、舞を誘導する夏樹》

「この灯り、雰囲気ありますよね。そこによりかかったらどうですか」

「ええ……本当にいい雰囲気ね」

「撮影ごっこしましょうよ。こっち見て笑ってー」

「何それw こんな感じ？」

「お、いいねえ、カシヤカシヤ!」

（本当に撮られてるけどw）

「うふふ、上手ね」

「舞ちゃん、乗ってきたねえw」
「いいぞ、夏樹ちゃん!」
「もっと大胆ポーズよろしく!」

「ここは浅いので、横になつて入るんですよ」
「こんな感じ？ ちよつと恥ずかしいわ」

「カメラ目線、いいねえ」
「可愛い乳首もはつきりw」
「ヌード写真集作れそうだなw」
「なっちゃん、よくやった。そろそろ次に行つて」

《頃合いを見て、ついっとお湯から出る夏樹》

「すみません、ちよっとトイレに行きたくなっちゃいました」

「そっか、更衣室に戻るの？」

「はい、ちよっと時間かかるかもしれないので、あちこちのお湯でくつろいでてください」(ちよっと、じゃないかもですけどw)

「分かったわ…身体隠した方がいいんじゃない？」

「だーいじょうぶでーす！」《全裸を隠さず階段を上っていく夏樹》

「なっちゃんのスーードも最高だったよ！」(ちよっと毛が濃いかなw)(もう、ふざけないでよ！)

「もう、仕方ないわねえ…」《男達の会話を知る由もなく苦笑する舞》

《夏樹がいなくなり、広い風呂場に一人になった舞。
お湯の熱さに上半身を湯から出す》

「ふう、気持ちいいお湯ねえ…本当に来てよかった」

《胸を外気に晒しながら、しばらくゆったりする舞》

「またおっぱい丸出し!」 「これもいいカット!」

《数分後、火照って顔が赤らむ舞》

（夏樹ちゃん、まだかな…）

《その頃。夏樹が番組スタッフ達の部屋に到着。拍手
で迎えられる》

「お疲れ、なっちゃん」 「いよ、千両役者!」 「あれ、
服着ちゃったんだ」 「裸のままでもいいのにw」

「もう、ふざけないでください! あ、舞さん、すっ
かり大胆になってますねw」

《夏樹と番組スタッフ達が中継画面を見つめる中、舞が湯に入っている》

「夏樹ちゃん、まだかな。大丈夫かな…」《そう呟きながら背後に顔を向ける》

（上の方にもう一つお風呂があったわよね。行ってみようかな）

《湯から出る舞が後方から映し出される》

「おお、ケツのどアップ!」 「結構でかいよな」 「舞ちゃんのエロケツ最高」 「アナルとアソコも見えそう」 「よし、もっと後ろに突き出せ!」

「やだ、そんなに見たら可哀そうですよw」

《木の浴槽で透明度の高いお湯に入る舞》

「少し冷たいのね。木のいい香り…」
（やっぱり温泉っていいわね）

《スタッフ達の客室で拍手が湧く》

「このお湯、透明じゃんw」
「ライティングもいいねえ」
「狙い通りの位置に入ってくれたなw」
「これも温泉のポスターにしてあげたい」
「最高のスマイルだねえ」
「この格好で放送させたいw」

《少し身体が冷え、最初に入ったお湯に移動する舞》

「ああ、温かい…」（こんなにゆっくり温泉に入れるなんて、幸せ）

《サービスシヨットの連続に盛り上がる客室》

「舞ちゃんの温泉盗撮最高！」（二人とはいえ大胆だなw）
「ストレス溜まってたもんな」（望月さんのせいじゃないですかw）
「エッチな撮り方されてたから」（今もだけどw）

使用したプログラム・素材等

- 本作品は、ILLUSIONの「ハニーセレクト ～コンプリートパック～」を使用して作成しています。 (http://www.illusion.jp/preview/honey_party/index.php)
- また、イリュージョン公式ページに投稿のキャラデータやシーンデータを活用しています。その他、個人HPに掲載の服なども使用しています。各作者の方に感謝いたします。
- 本作品のコンテンツの著作権は ILLUSIONに帰属し、販売等は認められていません。転載・販売等を行わないようお願いします。